

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2020年 12月 10日

事業所名：放課後等デイサービスはちのじ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分に確保されている	確保されている 85%	活動状況などに合わせ安全面を意識する
	2	職員の適切な配置	経験者、有資格者の配置	適切である 71%	
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	生活空間など個々に合わせた配慮をしている	適切である 66%	バリアフリーが困難であるので活動に合わせて配慮している
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	常に掃除を心掛け壁面などの工夫をしている。	適切である 85%	
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	個別支援計画作成に当たり常に職員と情報交換しておりPDCAサイクルの重要性を意識付けてきている。	/	
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	設立しまだ期間が短く今後取り組んでいけるよう準備をしている。	/	
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	資質の向上を意識し研修機会を職員平等に行う	/	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者との連絡を密に適切に行っている。	適切である 95%	
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個々の特性を大事に計画をしている。		
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具体的な支援や活動を明確にしている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	常に情報交換しケース会議を開いている。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	ミーティングで充実した立案をしている。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	保護者への連絡をしわかりやすく伝える。	適切である 95%
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎月一週間単位でプログラムを設定しその週のどの曜日に利用されても活動等に参加できるよう工夫している。	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	評価ノートを基に前日利用児の評価や当日ご利用児に対する動きの確認、一日の流れについて職員間で周知できるようにしている。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は送迎がある為、翌日午前には振り返りや反省点、気づき等を評価ノートに記録し情報の共有をおこなっている。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	評価ノートに記載し職員間で共有できるようにしている。また定期、不定期開催のミーティングでも振り返り等おこなっている。	
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	設立し期間が短いですが計画実施半年後にはモニタリング、ケース会議を経て計画書の見直しを行っている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	可能な限りの時間の調整を行い参画できている。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて、対面や電話等での情報交換を行い情報共有している。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現段階で該当児童が居ない為出来ていないが、機会があれば今後実施していく。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今後検討している。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在コロナ感染予防対策で自粛中	適切である 19%	今後、活動の場を状況により広めたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在コロナ感染予防対策で自粛中		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	十分にされている	適切である 95%	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	丁寧におこなっている。	適切である 95%	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在十分に行われていない。	適切である 47%	
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や電話、SNS等で常に伝える事ができている。	適切である 80%	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者の悩みなどを意識して対応している。	適切である 80%	対面や電話、連絡帳等で伝える工夫をしている。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ感染予防で直接面談が行われていない。	適切である 4%	状況により保護者会などを開催したい。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情や疑問に対して迅速に対応。	適切である 80%	
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者や子どもに対してわかりやすく伝える。	適切である 90%	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	活動の様子などブログなどを利用している。	適切である 76%	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付き書庫への保管の徹底。	適切である 85%	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員への研修などで徹底。	適切である 61%	保護者への周知を充実させる。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練などを定期的に適切に行う。	適切である 85%	訓練方法などの見直し、マニュアルの徹底。
	3 虐待を防止するための職員研修機種の確保等の適切な対応	虐待防止は職員に徹底されている。		新しい職員にも都度徹底する
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行っていない。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギー対策の徹底		生活指導管理表などで対策を行う
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例を作成している。		